

馬学

使用教科書 なし	単位数 2	学年・学級・学科・選択名等 3年(選択D)
-------------	----------	--------------------------

1 学習の到達目標

学習の到達目標	馬体の管理や乗馬体験を通して、馬の一般管理に関する知識と技術を習得するとともに、乗馬交流会では、外部の子どもたちと接することによって、対人サービスの特性を理解し、ボランティア精神と社会性を体得する。
---------	---

2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
前 期	4	オリエンテーション	1	本科目での学習内容の説明、授業の進め方、受講する上での注意事項などを理解する。	○				取り組みの姿勢
		1章 乗馬の実際 1. 乗馬の心得	5	馬に接することを基本として、馬具の装着方法および乗馬の基礎的な知識と技術を習得する。	○	○	○		取り組みの姿勢 レポート
	5	2. 乗馬環境の整備	4	馬に対する理解を深めると同時に、乗馬環境の整備という面に対してもその大切さを理解する。	○		○		取り組みの姿勢
		3. 馬場の環境・保全	4	乗馬環境の整備について、実際にその作業を通して理解を深める。	○		○		取り組みの姿勢
	6	4. 馬具の装着と乗馬	5	馬具の装着および乗馬方法の復習を行い、正しい馬具の装着方法ならびに乗馬方法を身に付ける。	○	○	○	○	取り組みの姿勢 レポート
		前 期 中 間 考 査			○		○		実技試験
	7	2章 馬飼育の実際 1. 馬体の管理	4	ブラッシング、ウラホリなどの一般管理を通して、馬に対する理解を深める。	○	○	○		取り組みの姿勢
	8	2. 乗馬交流	5	各種の「乗馬交流会」の準備と実施を通して、対人サービスの特性を理解し、ボランティア精神と社会性を体得する。	○		○	○	取り組みの姿勢 レポート
	9	3. 粗飼料の収穫と調製	4	ここでは、馬という「家畜全般」に対して、その飼料の重要性を収穫と調製の実習作業によって理解する。	○		○		取り組みの姿勢
		前 期 期 末 考 査			○	○	○	○	実技試験
後 期	10	3章 馬の特性について 1. 馬の効果	5	引き続き、各種の「乗馬交流会」の準備と実施を通して、対人サービスの特性を理解し、ボランティア精神と社会性を体得する。	○		○	○	取り組みの姿勢
		2. 馬の種類と品種	4	座学として、本校で飼養している馬の種類と品種を確認しながら、馬に対する理解を深める。	○	○		○	取り組みの姿勢 レポート
	11	3. 馬の性質・行動	4	座学として、馬のからだについて、主にその生理特性を学習し、馬の性質・行動に関して理解を深める。	○	○		○	取り組みの姿勢 レポート
		後 期 中 間 考 査			○		○		実技試験
		4. 馬の飼育	4	座学として、馬の飼育について学習し、馬の飼育方法の基礎的な内容を理解する。	○	○		○	取り組みの姿勢 レポート
	12	5. 馬の病気	5	座学として、馬の病気について、主にその把握方法と病気の特徴を学習と学習し、馬の管理に関して理解を深める。	○	○		○	取り組みの姿勢 レポート
		6. 馬の繁殖	5	座学として、馬の繁殖について学習し、馬の繁殖方法の基礎的な内容を理解する。	○	○		○	取り組みの姿勢 レポート
	1	7. 馬の活用	4	近年、クローズアップされている「アニマルセラピー」の現状とこれからについて考える。	○	○		○	取り組みの姿勢 レポート
	学 年 末 考 査						○	筆記試験	

3 評価等について

項目	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③技能	④知識・理解
内容	馬の飼育や乗馬技術に関心を持ち、動物活用の向上を目指して主体的に取り組んでいる。	馬の飼育や乗馬技術に関する課題の解決を目指して、適切に判断し、自分の考えを表現できる能力を身に付けている。	馬の飼育や乗馬に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、安全かつ適切に馬を扱うことができる。	馬の飼育と乗馬の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、動物活用の意義や役割を理解している。
割合	20% (点)	10% (点)	30% (点)	40% (点)

4 履修にあたっての注意事項

- (1) 4月～9月にかけては、主に実習を中心に行います。
- (2) 実習に際しては、学校指定の実習服・帽子・長靴を正しく着用して臨むこと。
- (3) 実習は危険を伴う作業をすることもあるため、指示を良く聞き、指示に従い、まじめに取り組むこと。
- (4) また、動物・ほこり等のアレルギーに十分留意すること。
- (5) 10月から学年末にかけては、座学を中心に行います。
- (6) 座学に際しては、教科書・ファイルを毎時間持参すること。

※ 以上の点を守れない場合には未履修になる可能性があるため、注意すること。

評価について

評価	評価点
10	100 ～ 93
9	92 ～ 85
8	84 ～ 77
7	76 ～ 70
6	69 ～ 61
5	60 ～ 53
4	52 ～ 45
3	44 ～ 38
2	37 ～ 30
1	29 ～ 0

学年末評定について

評定	評価点
5	100 ～ 85
4	84 ～ 70
3	69 ～ 45
2	44 ～ 30
1	29 ～ 0